



気高電機株式会社



会社説明中の様子

会社名:気高電機株式会社

業種:製造業

設立:昭和44年6月

従業員数:309名
(気高電機209名、気高プロダクツ100名)

代表:羽馬好幸

場所:鳥取県鳥取市気高町宝木1561-8

会社概要

日本の大手家電メーカー様のOEM、ODMを主体に最新の炊飯器、ジャーポットなどの家電製品の「開発から完成品までの一貫したものづくり」(デザイン、商品設計、ソフト開発、回路設計から金型製作、部品製造、組立て)を行っています。

生産拠点を日本と中国に持ち、大ロット生産、小ロット生産、部品生産、ユニット組立てなど、お客様のアウトソーシングのニーズにおこたえています。
主要取引先: タイガー魔法瓶(株)、パナソニック(株)、ピーコック魔法瓶工業(株)、ローレル機械(株)、(株)ユニマツライフ 他



会社HP:<https://www.ketaka.co.jp>



私たち気高電機は日本の大手家電メーカー様とともに最新の炊飯器、ジャーポットなど様々な家電製品の「開発から完成品までの一貫したものづくり」を行っています。
現在は弊社の得意分野である「温める、冷ます」といった電熱設計技術を活かし、炊飯器などの家電製品以外である医療機器、美容機器などの新たな分野、用途製品の開発にも挑戦しています。

弊社の事業の主軸は ODM 事業です。

会社概要にもある「ODM」とは「Original Design Manufacturing (オリジナル・デザイン・マニュファクチャリング)」の略語で、委託側のブランドで販売される製品を、受託側 (= 気高電機) が設計開発、生産する方式および企業を指します。

ODM と似た言葉に OEM がありますが、OEM とは「Original Equipment Manufacturing (Manufacturer) (オリジナル・エクイップメント・マニュファクチャリング)」の略語で、委託側のブランドで販売される製品を、委託側が設計開発までを行い、受託側が依頼を受けて、製品を生産するのみの方式および企業を意味します。

代表インタビュー

【社内の部門と役割】

弊社は製品設計から生産までを任せて頂いており、斬新なアイデアと技術提案力が業界で注目を集め、大手メーカーとの取引実績が年々増加しており、時流に合わせ 3D プリンタなどの最新のツールを取り入れ、これまで以上に開発力向上に磨きをかけていきます。

弊社には設計部門だけでなく、お客様とやり取りをする営業部門、生産計画や部品調達を行う生産管理 / 資材部門、そしてものづくりの中心となる現場部門があります。

それぞれの部門で今までの常識に捕らわれない発想や知見を身につけた人材を育成することで、まだ世の中にはない製品を生み出していく。人々に喜ばれる製品造りに挑戦し続け、業界トップクラスを目指しています。

長年にわたって継承し続けた技術力と最新鋭の技術を融合させ、短納期で高品質な製品の製造を実現。また、設計部門、金型部門、品質部門が開発段階から連携することによって、徹底したコストダウンや品質向上に繋がる提案を可能とし、「顧客の期待以上」を意識したサービス展開を行っています。



営業企画部

羽馬 由和さん



商品説明中の様子

現在は、新型コロナウイルス感染症の影響や災害などで部品や材料の供給が滞るリスクを回避する目的から海外(特に中国)で生産する商品について、日本国内への回帰を検討される企業も多くなっています。部品の国内調達を増やすほか、為替の動向や需要に応じて、国内新工場の建設を検討する企業も増えてきています。

弊社は国内でも海外でも生産が可能な体制を整えているため、上記のような新たな生産先を探されている企業の受け皿として必要不可欠な企業となるべく今後も成長を続けていきます。

社員インタビュー

＼＼ Q インターンシップではどのようなことをしていますか 〳〳

気高電機のインターンシップでは、実際の業務で活用する 3DCAD を操作してもらい、自分たちでオリジナルマウスを設計してもらいます。3D プリンターで設計したマウスを作成し組立てます。出来上がったマウスは日常で使えるのでみなさん喜んで持って帰ってもらっています。

＼＼ Q 入社決め手はなんですか 〳〳

地元が鳥取ということもあり、鳥取の企業で勤めたいという気持ちが一番強かったことと、鳥取大学の工学部だったので気高電機では自分が学んだことを活かせると感じたからです。



工場内の様子



商品についての説明中

＼＼ Q 大学生の時にしておいたほうが良いと思うことはありますか 〳〳

気高電機に入社してやっておいたほうが良かったと感じることは特にありません。会社の新人教育が充実していて、先輩方が優しく教えてくれたので困ることもありませんでした。私生活でいうとやはり自由な時間が極端に減るので、旅行など行きたいところには行っておいたほうが良いと思います。



所属：営業企画部 営業企画グループ

土橋 大貴さん【入社して6年】



企業説明中の様子

学生インタビュー

僕たちと世代の近い社員さんに取材させていただいたことが大きく印象に残っています。仕事のことだけでなく、自身の体験などを交えて話してくださったので、とても参考になる部分が多くありました。

また、工場見学をさせていただいて、炊飯器をはじめとする製品がどのように作られているのか知ることができ、普段何気なく使っているものですが、多くの部署、多くの人が関わって初めて完成し、社員さん一人ひとりが真心をこめて、丁寧に作業をしているからこそ良いモノができていると感じました。

取材を通し、地元企業の方々が自分たちの仕事に対して、非常に高い誇りを持っていることが伺えました。気高電機さんの専売特許でもある、金型を存分に生かした製品開発、設計から製品化までをすべて一つの会社で行う組織力の高さを感じました。そして設計段階で事前に起こりうる問題を予見しながら、目の前の課題（製品設計）に取り組んでいた点が、私の中では非常に印象に残りました。



取材中の学生



取材学生：地域学部 地域学科 1年生
工学部 電気情報系学科 1年生
工学部 社会システム土木系学科 3年生



見学中の学生

編集後記

取材した学生の中には、始めて会社見学をした方もおり、感想の中でも「普段企業の方のお話を聞く機会や工場内を見学する機会はないため、非常に貴重な経験になった」という意見をいただきました。

インタビューをしている中で、社員さん同士の雰囲気が高く会社全体の雰囲気も良いのだろうなといった印象を受けました。

設計から製品化という長い工程を単一の企業でこなすのは、なかなかハードルの高いことでありながらも、各々の部門が役割をしっかりと果たしているからこそ、それが成り立っていると感じました。

